

山梨市赤芝集落の風景と建築を生かした保存利活用の提案

富永 祥子 建築学部 建築デザイン学科 教授

キーワード：□山村集落、保存利活用、養蚕建築、耐震補強、空き家、人材育成

概要

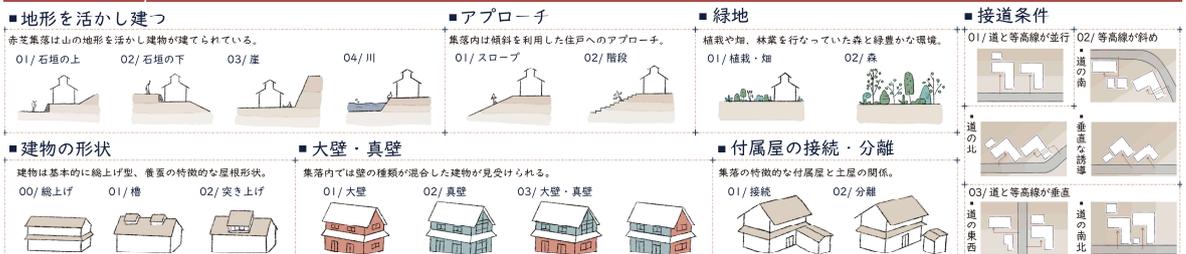
山梨市赤芝地区は、赤芝川の谷あい広がる小規模で変化に富んだ美しい集落である。そしてその民家は、斜面地という制約から床を三層（一部四層）に多層化することで建物規模を拡張した独特な形式を持つ。富永研究室では、近年空き家化・高齢化が進む赤芝集落を対象に、実測・ヒアリング調査を通して建築的・景観的価値付けを行い、民家や集落全体の保存利活用提案を行う。

アピールポイント

シーンの移り変わり / 山の傾斜により生み出される高低差が視線を導く



カテゴリー / 赤芝集落を構成する要素



・集落全体を特徴づける具体的な構成要素を、シークエンスから読み解き図解する。

Bエリア：同じ等高線上に住居が連なるエリア



・集落を3つのエリアに分け、更に解像度を上げて各エリアの景観的価値づけを行う。

実測図面 S=1:80



私たちの注目ポイント



・各エリア内で実測した民家について、建築的価値づけを行う。

これらをもとにハード・ソフト面での利活用提案書を今年度内に山梨市へ提出、現地発表会を行う。

関連情報 ● 関連 URL = <https://tominagalab.wixsite.com/kogakuin-tomi-lab> (工学院大学建築デザイン学科富永研究室HP)